

フランスの核戦力一覧 ¹⁾

2015年6月1日現在

名称	核弾頭の種類	核弾頭の威力 (キロトン)	核弾頭数	備考
作戦配備			280	
潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM) ²⁾			240	
MSBS M51 ³⁾	TN75	100	240	4)
爆撃機など航空機搭載			40	
爆撃機搭載 ASMPA ⁵⁾	TNA	可変~300	40	6)
空母艦載機用 ASPMA ⁷⁾	TNA	可変~300	0	8)
作戦外貯蔵			~20	
SLBM			~5	
爆撃機など航空機搭載			~15	9)
退役・解体待ちなど			~	10)
全保有量			300	

【脚注】

- 1) 「300弾頭以下に削減する」とサルコジ大統領が発表（2008年3月21日）（Sarkozy, Nicolas M. 2008）。オランド大統領がその完了を含め現状を確認（2015年2月19日）（HOLLANDE François 2015）。2015年NPT再検討会議に提出した報告書（Government of France, 2015）で、弾頭数が300以下であること、潜水艦発射弾道ミサイル数が1隻あたり16基で3隻分あること、空中発射核巡航ミサイル数が54発であることなど大統領演説の内容を再確認。54発の数字は、ここでの一覧表では、作戦配備の「爆撃機など航空機搭載」40発と作戦外貯蔵の「爆撃機など航空機搭載」15発との合計55発に該当する。核兵器関連費用は全軍事費の約3分の1と見積もられるが、2015年の場合約28万ドルと見積もられるが別の試算では42万ドルに達する（Kristensen, Hans M. 2015-2）。
- 2) 4隻のトリオンファン級(※)原子力潜水艦(SSBN)：トリオンファン、テメレール、ピジラン、テリブルに搭載。うち少なくとも2隻が完全作戦体制にあり、そのうちの1隻が抑止パトロール(約10週)に就いている。基地はプレスト近くのロング島(Ile Longue)という半島（Kristensen, Hans M. 2015-2）。
※【トリオンファン級】前型最後のSSBNアンフレキシブルは2008年1月に退役（Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008）。2010年9月20日、テリブルが就航し4隻体制になった。16基のミサイル発射管を装備する。
- 3) MSBS=Mer-Sol Balistique Strategiqueの頭文字。フランス語で「艦対地戦略弾道ミサイル」。旧型M45(射程4000 km以上、6弾頭MIRV可能)から射程が長く、搭載重量が大きく、精度も高い新型M51に転換中。4隻中2隻はすべてM51を搭載（Kristensen, Hans M. 2015-2）。（現在のバージョンは51.1と名付けられる）。その発射実験は2010年1月27日と7月10日に行われた。2013年5月5日、ピジランからの発射実験に失敗した（Collin, Jean-Marie 2013）。M51は熱核弾頭TN75(※)を装着。2016年からTN75がTNO(Tete Nucleaire Oceanique、海洋型核弾頭)になり、ミサイルはM51.2に置き換わる予定（Kristensen, Hans M. 2015-2）。
※【TN75】フランスが1995~96年、ムルロアで行った最後の核実験で実証実験が行われた熱核弾頭。TNはフランス語の核弾頭(Tete Nucleaire)の頭文字。
- 4) 4隻のうち3隻に交替で弾頭が装備される運用体制と考えられ、1隻はオーバーホール（Kristensen, Hans M. 2015-2）、3隻×16発射管×(4-6) MIRVと弾頭数が計算される。平均すると5発の多弾頭運用となる。
- 5) ASMPA=Air-Sol Moyenne Portee Amelioreの頭文字。フランス語で「空対地中距離改良型」。射程500 kmの巡航ミサイル。弾頭はTNA(Tete Nucleaire Aeroporteeの頭文字。航空核弾頭)
- 6) 2種類の戦闘爆撃機ミラージュ2000N(※)、ラファールF3(※)各20機に搭載。1機あたり1弾頭。（Kristensen, Hans M. 2015-2）
※【ミラージュ2000N】1988年に作戦配備。2009年にASMPAを装備。航続距離2,750 km。（Kristensen, Hans M. 2015-2）
※【ラファールF3】2008年に作戦配備。2010年にASMPAを装備。航続距離2,000 km。（Kristensen, Hans M. 2015-2）
- 7) フランスが持つ唯一の空母シャルル・ドゴール(R92、原子力推進)の艦載機ラファールMF3(※)の10機が核任務をもつ。以前はシュベール・エタンダールがこの核任務を担っていたが、ラファールMF3にとって代わられた。前者は2016年に退役予定（Kristensen, Hans M. 2015-2）。
- 8) 空母シャルル・ドゴールには、平時において核兵器は搭載されていない。艦載機ラファールMF3に搭載のためのASMPA約10発は陸上基地(おそらくイストレ(Istres)航空基地)に貯蔵されている。（Kristensen, Hans M. 2015-2）その意味で、中国の場合と同様に作戦外貯蔵に分類した。クリステンセンの統括表（Kristensen, Hans M. 2015-1）と一見異なるが、内容的には違わない。
- 9) 空母艦載機用ASMPA約10発を含む。
- 10) オランド大統領の発表では、「非配備の核兵器はない」と述べた（HOLLANDE François 2015）。2015NPT再検討会議でも同様の報告を行った（Government of France, 2015）が、米国の「即応核戦力」のような目的で非配備の予備核兵器をもっていない、という趣旨と思われる。実際には核弾頭の維持サイクルの中で、作戦貯蔵にはない、新しい弾頭、修理中の弾頭、解体を待っている弾頭などが少数であると推定される。（Kristensen, Hans M. 2015-2）

【出典】

Collin, Jean-Marie 2013: "The M51 missile failure: where does this leave French nuclear modernization?," BASIC Blog, June 27, 2013
[http://www.basicint.org/blogs/2013/06/m51-missile-failure-where-does-leave-french-nuclear-modernization\(2015.5.30](http://www.basicint.org/blogs/2013/06/m51-missile-failure-where-does-leave-french-nuclear-modernization(2015.5.30) アクセス)

Government of France, 2015: "Report submitted by France under actions 5, 20, 21 of the Final Document of the 2010 Review Conference of the Parties to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons," (NPT/CONF.2015/10) 12 March 2015

HOLLANDE François 2015: "Speech on Nuclear Deterrence," 19 February, 2015。非公式英訳：<http://acdn.net/spip/spip.php?article921&lang=en>。(2015.5.27 アクセス) 抜粋和訳：<http://www.peacedepot.org/nmtr/bcknmbr/nmtr470.pdf>

Kristensen, Hans M. 2015-1: "Status of World Nuclear Forces 2015," Website of FAS. <http://fas.org/issues/nuclear-weapons/status-world-nuclear-forces/> (2015.5.29 アクセス)

Kristensen, Hans M. 2015-2: Chapter 'France,' "Assuring Destruction Forever: 2015 EDITION," edited by Ray Acheson, 2015, Reaching Critical Will
<http://www.reachingcriticalwill.org/images/documents/Publications/modernization/assuring-destruction-forever-2015.pdf> (2015.5.29アクセス)

Norris, Robert S. & Kristensen, Hans M. 2008: "French nuclear forces, 2008," *Bulletin of the Atomic Scientists*, September/October, 2008

Sarkozy, Nicolas M. 2008: English version: "Presentation of SSBM 'Le Terrible' – Speech by M. Nicolas Sarkozy, President of the Republic," 21 March 2008
<http://www.ambafrance-uk.org/President-Sarkozy-s-speech-at,10430.html> (2013.7.10 アクセス)。抄訳：「ニコラ・サルコジ仏共和国大統領の演説」、イアブック：核軍縮・平和2008（監修：梅林宏道、NPO法人ピースデポ）pp.250-252

©RECNA 核弾頭データ追跡チーム